

開催しました！

「滋賀県がんと向き合う週間」市民公開講座

市立大津市民病院のがん診療 ～がんのこと、一緒に考えてみませんか～



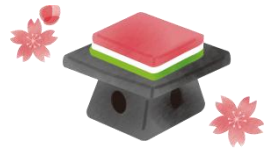
- ◆日 時:令和2年2月8日(土)13時～15時40分
- ◆場 所:市立大津市民病院 本館2階外来A・Bブロックフロア
- ◆講演内容:講演Ⅰ:大腸がん検診に学ぶ“がん検診”の役割

田中 順子 医師(健診センター診療部長/消化器内科医長)

講演Ⅱ:胃がん・大腸がんの外科治療 ～開腹手術からロボット手術まで～
平井 健次郎 医師(外科・消化器外科医長)

講演Ⅲ:肺がんの最新治療について ～予後延長を目指して!～
平沼 修 医師(呼吸器内科診療部長)

講演Ⅳ:知って得する!がん治療中に利用できる社会保障制度
福田 知美(看護師)/吉川 麻紀(社会福祉士)



令和元年度の「滋賀県がんと向き合う週間」市民公開講座を2月8日(土)に開催し、医師をはじめとして看護師、社会福祉士が4部構成で幅広く講演を行いました。日本人に多いがんを中心に、講演Ⅰではがん検診や人間ドック、大腸CT等によるがんの早期発見への取り組みについて、講演Ⅱでは主に胃がん大腸がんの開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術それぞれの長所・短所について、講演Ⅲでは肺がんの薬物療法、放射線治療といった治療の選択肢や、最新のがんゲノム医療などについて、講演Ⅳではがん治療中に利用できる社会保障制度をイラストを交えて解説しました。

がん診療への市民の皆さんの関心は非常に高く、当日は130名もの方が参加して下さい、長時間にわたる講演にも関わらず、参加者の皆さんは熱心にメモを取りつつ講演に耳を傾けておられました。

講義後のアンケート結果では91%の方が“満足した”と回答して下さい「がん検診の必要性を感じ、がん検診を受けようと思った。」「市民として市民病院の存在のありがたさを再認識した。」「このような講座をもっと多く開催してほしい。」というような感想をたくさんいただきました。

当院は、今後も市民の皆さんための健康講座・公開講座を開催し、滋賀県地域がん診療連携支援病院、また市民病院としての使命を果たしてまいります。



講師による講演の様子